

一 般 質 問

急げ大島病院周辺整備！

神 岡 光 人 議 員

問 大島病院の改築移転に伴う周辺の整備、影響について3点程問う。



先ず1点目は、建物位置が、道路を挟んで海岸へ移転する事になれば、台風などによる、高波、高潮の被害が予測される。その対策を問う。

2点目は、駐車場が県道を挟んで二分されると聞くと、病院へ行って交通事故にあったでは話にならない。交通安全対策はいかに。

3点目は、小松港は笠佐島航路の発着場であり、多くの漁港、遊漁船が係留されて

いるが老朽化も目立つ。今後の整備計画を問う。

答 高潮対策として80cm程嵩上げをし、強風に対しては十分な強度を持ったガラスで対応。

駐車場は、職員とお客様用は県道で分断されているので、現状での対応を考える。

小松港は、県管理であり、今後の整備計画はないとの回答であるが、現状に応じ、整備の要望をして行く。

要 望 安心、安全に入・通院ができ、職員も安心して患者さん対応ができる職場を願う。事故なく早期の実現を願う。



大島病院建設予定地

子供達を守るのだ！！

田 村 三 郎 議 員

問 学校内に侵入した不審者による子供の殺傷事件や登下校時の子供が被害に遭う事故が後を絶たない中、文部科学省が学校保健法を改正し、安全管理の主要目的を



従来の授業時間などの「怪我防止」から通学時も含めた「防犯防災」に転換する方針を固めた事が、最近新聞報道で明らかにされた。本町の学校としても子供達を守るため、既に「見回り隊」等地域と連携をとり合いながら、素晴らしい活動を展開している事は承知している。しかし、学校保健法

が改正されれば、当然ながら、学校ごとに防犯計画を策定せざるを得ない訳であるが、現時点ではどのような具体的対策を立てているか問う。併せて我々議員に対しても出来る対策があれば示して欲しい。

答 現在全ての小学校区に於いて、防犯パトロール隊、子供見守り隊、スクールガード隊など登下校等において、子供達を見守る体制が整い、積極的な活動をしている。「生活安全」に関しては、全小・中学校で不審者の進入時の避難訓練を実施している。更に、全小・中学校に



気を付けて帰りましょう

において安全マップの作成も行われている。議員もそれぞれの立場において、皆が子供を守るという自覚を持ち、積極的な行動が大事。